



今年2月、遠敷地区の伝統産業だった「若狭めのう細工」の展示を清右エ門で実施しました



鯖街道沿いにあるシンボルの巨大壁画を今年の夏、11年ぶりに塗り直しました



今年の5月13・14日に開催された「鯖街道体験ウォーキング」の途中、多くのウォーカーが清右エ門へ立ち寄りました

自分たちが住む遠敷地区に愛着を持つ人は確実に増えてきています。これからも、歴史文化など豊かな地域資源の有効活用に向けていきます

建物です。拠点候補として挙がった時は空き家でした。平成18年以降、「福井ふるさと茶屋整備支援事業」の採択を得て改修がスタート。畳の間違った一部分を土間に換え、新たに壁を仕切り、年季の入ったテーブルと椅子を設置するなど間取りを変更。近所に住む高齢者や女性のサロンの場になっていきます。また、下屋根に若狭瓦を活用するなど、地域性も大切にしました。

日本遺産を感じる トレッキング拠点として

昨年10月にオープンした清右エ門。誰でも気軽に入れ、室内に置かれて

いるパンフレットから地域の情報を得られます。

お水送りや遠敷祭りなど行事の開催に合わせて企画展を実施してきました。今年7月には、お水送りを追いつけるプロカメラマンが撮影した写真をパネルで展示。来場者からは、荘厳な神事に携わる人々の息づかいが聞こえてきそうという感想をもらいました。現在は途絶えてしまった「若狭めのう細工」の展示を開催した時も。「めのう細工の中心地として栄えた遠敷地区。ただ、今なお細工品を残している家は多く、それらをお借りして展示したんです」

こうした文化遺産の発信のほか、若狭トレッキングの拠点としても注目を集めています。平成27年4月、文化庁の日本遺産第1号に「御食国若狭と鯖街道」が認定されたのは多くの人の記憶に新しいところ。鯖街道を歩きたいというウォーカーを迎える休憩所としての発展にも期待が寄せられます。

「みんな表立ってはいませんが、自分たちが住む遠敷地区に愛着を持つ人は確実に増えてきています」と手応えを感じる芝田さん。地域の人々は、力を合わせ、伝え、残してきた豊かな資源の有効活用に向けています。



1. 神宮寺から鶴の瀬までのたいまつ行列には、約3000人が参加します
2. 神楽や大太鼓の奉納巡行が見られる遠敷祭り
3. 若狭姫神社の境内にそびえる千年杉は、古くから遠敷地区の人々を見守ってきました



【巻頭特集】遠敷丹後街道まちなみ保存推進会

歴史ロマンが残る遠敷の魅力を次世代へ

鯖街道の起点となった小浜に最も近い宿場町として栄えた、遠敷地区。歴史遺産が数多く残されており、丹後街道沿線は特に古い建物が並び、宿場町らしい風景が広がっています。町に残る財産を活用し、人のにぎわいづくりや観光への資源としてアピールしようと取り組む、遠敷丹後街道まちなみ保存推進会を訪ねました。

宿場町の面影を残す 遠敷を形成する5地区

古くは京都や奈良へ、塩や海産物などを送る御食国の一つとして栄えた若狭小浜。「京は遠ても十八里（約72km）」の言葉で知られる、京都と若狭を結ぶ鯖街道は食料だけでなく、人や文化を結ぶ交流の道でもありました。

そんななか、小浜の中心地として物流や文化交流の拠点となったのが遠敷地区です。神宮寺や萬徳寺、国分寺、さらに若狭国鎮守一の宮である若狭彦姫神社など有形文化財が今もなお残っています。春のお水送り、秋の遠敷祭りといった京都や奈良と密接な関係を持つ祭礼も脈々と受け継がれています。

遠敷地区のなかでも、丹後街道沿いにある検見坂、池田、島、市場、中村の5区は若狭姫神社を中心に栄えた場所です。小浜市の調査によると、遠敷地区内の伝統的建造物は24戸、少しの改修で昔の家屋へと復元できるものが16戸、蔵が8棟ありました。平成26年2月、そんな町の財産が評価され、「伝統的民家群保存活用推進地区」に指定されました。その8ヵ月後、遠敷地区で発足されたのが遠敷丹後街道まちなみ保存推進会（会長・貫井貴史さん）です。

集会所の枠組みを超えた ふるさと茶屋 清右エ門を開設

「指定を受けて終わりではなく、ここに住む私たち自身の意識と一体感を高めようと活動しています」と

紅葉の見頃は
11月中旬です



遠敷丹後街道まちなみ保存推進会事務局「ふるさと茶屋 清右エ門」館長 芝田明和さん

秋のライトアップ・おでかけ情報

ナイトミュージアム 福井県立若狭歴史博物館 [小浜市遠敷2-104]

日時／11月18日(土)・19日(日)9時～20時(入館は19時30分まで)
入館料(一般)／300円 ※11月11日(土)～、テーマ展「森と出会った縄文人」を開催予定

観光の拠点場所 ふるさと茶屋 清右エ門 [小浜市遠敷76-21]

オープン時間／10時～16時(原則、土・日・祝のみ。そのほかの曜日は要連絡)
◎「農家レストランあばん亭」で弁当を注文(※要予約)すると、清右エ門で食事ができます [予約先／090-3296-2816(芝田さん)]

みほとけの里ライトアップ



神宮寺 [小浜市神宮寺30-4]

日時／11月22日(水)・23日(木・祝)16時30分～20時頃
拝観料／400円



明通寺 [小浜市門前5-21]

日時／11月18日(土)・19日(日)16時30分～20時頃
拝観料／500円



萬徳寺 [小浜市金屋74-23]

日時／11月18日(土)・19日(日)16時30分～20時頃
拝観料／400円



観光とまちづくりの拠点となる「ふるさと茶屋 清右エ門」。中庭の白壁には、月を模した飾り窓があります